

# ICTの提供による社会の持続可能性と生物多様性への貢献

## 現金管理運用サービス

### 富士通グループのSDGsへの取り組み

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals : SDGs）は、先進国を含めた世界全体が2030年までに達成すべき共通の目標です。その目標達成に向けて、民間企業の技術やイノベーション力を積極的に役立てていくことが強く求められています。富士通グループは、かねてより、共創を通じて持続的に社会にインパクトを与える成果を生み出す、「ヒューマンセントリック・インテリジェント ソサエティ」の実現を目指して、テクノロジーを活用するとともに新たなイノベーションを創造してきました。この活動と、国際社会がSDGsの達成に向けて取り組む方向性は、一致していると認識しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/about/csr/sdgs/>

### 持続可能な開発のための2030アジェンダ

「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals : SDGs)を中核とする「持続可能な開発のための2030」は、平成27(2015)年9月25日に、ニューヨーク・国連本部で開催された国連サミットで採択されました。

### SDGs(Sustainable Development Goals)

2030年に向けて持続可能な開発に関する地球規模の優先課題などを明らかにした目標です。17の目標と169のターゲットで構成されています。ミレニアム開発目標（Millennium Development Goals : MDGs）とは異なり、先進国を含む全ての国に適用される普遍性が最大の特徴です。

### 環境との関連

複雑に絡み合う社会・環境課題に対応していくためには、環境・経済・社会の3つの課題を総合的に取り組む必要があります。環境省では、17の目標のうち、気候変動、持続可能な消費と生産（循環型社会形成の取組等）等、少なくとも、12の目標が環境に関連しているとしています。

### ICTによるSDGsへの貢献

富士通グループは、クラウドシステム、モバイルコンピューティング、電子政府など、様々なICTの提供を通じて、国内外のお客様とともに、SDGsへ貢献してまいります。



### 「環境貢献ソリューション」認定制度のご紹介

富士通は、富士通グループが提供するソリューション・サービスの導入によるGHG排出量の削減効果を定量評価し、削減効果が15%を上回る商品を「環境貢献ソリューション」として認定してきました。現在もGHG排出量の削減効果を算定し毎年報告しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/sustainability-contribution-list/>



### 現金管理運用サービス

- 現金管理運用サービスは、入出金機を利用し、店舗の現金を一元的に管理することで、業務効率化を可能とするクラウドサービスです。従来、従業員などにより売上金精査や違算チェックを手作業で行っていたため時間を要していましたが、当サービスは主に売上金確定や釣銭準備にかかわる業務をICTで支援することで違算の発生を減らし、さらにオペレーションを統一することで作業効率をあげて業務負担を軽減します。また、精算レシートや日報の枚数が減ることで紙の使用量を削減し、現金在高を適正管理することで警送の出動頻度を削減するなど、CO<sub>2</sub>をはじめとする環境負荷の低減につながります。

### 「環境貢献ソリューション」の提供により、SDGsへ貢献します。

- 「環境貢献ソリューション」の取り組みは、目標13：気候変動へのアクション（気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。）への対応として、推進しています。富士通グループは、「環境貢献ソリューション」の提供を拡大し、SDGsに貢献します。



## 現金管理運用サービスによる業務の効率化と環境負荷の低減

### システム概要

現金管理運用サービスを導入・利用することで、スーパーやコンビニ、ドラッグストアなどの現金管理業務の効率化、現金在高の適正化を実現します。現場での現金集計や本部のデータ入力など、手作業による膨大な工数と計算ミスを削減し、従業員の負担低減につながります。

当サービスは、リアルタイムに在高管理が可能となり、常に適正な現金在高情報を取得できます。更に、本部では、店舗毎、POS端末毎の売上データを財務・会計システムに取り込めるため、全店舗の売上確定データをリアルタイムに把握でき、紙ベースの運用に比べ会計報告の簡易化を実現します。

このように、店舗における業務効率の向上はもちろん、紙で管理していた精算レシートや日報が減ることで紙使用量を削減、店舗の現金在庫を適正管理し適切な時期に警送を手配することで車両の出動頻度を削減するなど、CO<sub>2</sub>や廃棄物の発生を抑制し、環境負荷の低減に貢献します。

### 効果

・ CO<sub>2</sub>排出量の削減効果：約19% ※富士通フロンテック試算

[導入後の効果事例（200店舗を基準に試算）]

- |              |                  |                                 |
|--------------|------------------|---------------------------------|
| ・ 紙（レシート、日報） | ⇒ 約43.8万枚/年 削減   | 理由：売上データと現金の突き合わせ作業を画面での確認に切り替え |
| ・ 警送出動頻度     | ⇒ 1/7 に削減        | 理由：現金在庫の適正管理により出動頻度が毎日→1回/週に改善  |
| ・ 作業工数       | ⇒ 約47,500時間/年 削減 | 理由：全店舗での突き合わせ作業等が不要になり、大幅に時間短縮  |

※上記の効果は、現時点で富士通フロンテックが試算したものであり、お客さまの運用状況などにより結果が異なることを予めご承知おきください。

### 現金管理運用サービスの導入によって、何故、業務効率が向上するのか？

以下のようなメリットがあります。

- ① オンライン接続の入出金機を活用したクラウド管理で、突き合わせ作業等に要する手間が軽減されます。
- ② 現金在庫の適正化で警送の出動頻度が減り、店員の立ち合い作業の負担が軽減されます。

#### 導入前

釣銭金作成/売上金勘定のマネーストレス...

金庫内現金実査の手間...

BANK  
売上金外部持出しの手間とリスク...

両替手数料の高騰化...

各店舗の売上チェックと売上突合せ...

#### 入出金機では1台で、 オンライン金庫と入金機、両替機 の役割を実現可能



店舗様、本部様の業務負担を軽減し、  
更に生産的な業務に集中可能な  
状況を作ります

#### 導入後

現金を自動計数するため、  
効率良く、ミスも削減!!

棒金の補充、売上金の回収も、  
警備会社が対応するので安心かつ  
手間いらず!!  
釣銭補充対応で店舗様による  
両替対応不要に!!

クラウドで各店舗の  
売上を一括管理!!

### お問い合わせ先

富士通フロンテック株式会社

営業本部 フロントビジネス営業統括部

Webによるお問い合わせ：<https://www.fujitsu.com/jp/group/frontech/contact/products/>